

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 見附市立上北谷小学校（※正式名称を記載）

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注 1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注 2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒954-0025

新潟県見附市牛ヶ嶺町 1292 番地

E-mail kamikita@mitsuke-ngt.ed.jp

Website http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~kamikita/

幼児児童生徒数 男子 35 名 女子 16 名 合計 51 名

幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

（1）活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

ふるさと上北谷の川と大地

～豊かな命を育む上北谷は私たちの誇り～

1 <ふるさとの水>

水環境体験学習～鮭の飼育・放流と水質検査～

2 <ふるさとの土>

農体験・栽培学習～堆肥づくり・有機農法稲作体験・花の栽培～

① 堆肥作り、大地のリサイクル

秋、藁、牛糞、稲藁、花壇の枯れた花、米ぬかの順番に何度も何度も重ねていき自分たちの背より高く積み上げ、踏みしめながら堆肥作りを行う。一番上に子どもたちが編んだ「とば」をかけて完成する。その後、2 年間熟成させ、再来年の稲作、畑作に使用する。いい堆肥ができるので土が豊かになる。

② 小さなサケの稚魚を育て川を守る

学区の刈谷田川はサケがのぼり自然産卵をする。私たちは漁業組合の方から卵をもらい、学校の水槽で稚魚を孵化させる。3 月には地域の人と放流する。また、学区の稚児清水川の水質検査に取り組んでいる。ふるさとの川を「命豊かな川」として守っていけるよう、地域の人に呼びかけ、私たちも大切にしていける。

③ 地域とつくる花いっぱい学校

全校が一人一鉢でベゴニアの花を育てたり、中庭に学年毎の花壇に花を植えたりして世話をしている。また、前庭の花壇は、地域の方と一緒に花を選び、一緒に苗を植えている。花壇いっぱい咲き誇る花は、学校に来られるお客様の目を楽しませせてくれている。



堆肥まき (4 月)



堆肥作り (10 月)



お花咲かせ隊との苗植え (5 月)



サケの放流 (3 月)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input checked="" type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 表現力)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

ユニセフのホームページ
矢沢幸の詩の本（光る砂漠、矢沢幸詩抄など）
JA のホームページ、見附の宝物ガイドブック
みつげ塾（見附市教育委員会）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

循環型農園活動やその他のふるさと学習については、総合的な学習や生活科としてしっかり位置づけ、年間指導計画にも明記している。各学年の発達段階に合わせ、社会科や国語などとの関連をはかっている。また、それぞれの活動を支援してくださる体制もできている。また、それらの活動のまとめとして3学期に学習発表会という形で、保護者や地域の方などに発信している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校支援地域本部があり、農園隊やお花咲かせ隊など年間を通して活動を支援してくださる体制ができている。また、学習支援ボランティアを募集し、様々な教育活動に活用している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

地域のコミュニティ会長や公民館長、区長会長、地域の有識者、学校支援地域本部の代表からなる学校運営協議会を定期的開催し、保護者や児童、教職員アンケートの結果から話し合ったことをもとに改善点や手立てを洗い出し、ご意見をいただいている。

小学校に対する地域や保護者の期待は大きく、応援の力も大きいので充実した活動ができている。児童減少に伴っての教育活動の見直しは必要であるが、上北谷小ならではのよさを継続していく。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

様々な教育活動をより多くの方に知ってもらおうと、学校だよりに取組を確実に掲載し、保護者だけでなく、地域に回覧している。また、ホームページでも発信している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（２００字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

環境学習では、民間団体や川の漁業組合、防災学習では、NPO 法人の中越防災推進機構、福祉学習では、社会福祉協議会や地域の特別養護老人ホームの方から講師として来ていただいた。

- ⑦ 内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

市内すべてがユネスコスクールであるので、さまざまな場面で情報交換をしている。特に、講師を紹介してもらったり、活動内容や取組について教えてもらったりして活動を広げることができている。また、小規模校が３校集まって交流活動を実施している。

⑧ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

学校経営の3本柱の一つとして「ふるさと力」の向上をあげ、地域に根ざした教育活動をしていくことで、自分たちの地域が好きだといえる子供たちがたくさんいる。また、誇りに思うことができている。学校評価アンケートの結果からも高い評価を得られている。

（3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度も「ふるさと上北谷の川と大地 ～豊かな命を育む上北谷は私たちの誇り～」をテーマにする

1 <ふるさとの水>

水環境体験学習～鮭の飼育・放流と水質検査～

2 <ふるさとの土>

農体験・栽培学習～堆肥づくり・有機農法稲作体験・花の栽培～

の2つの柱を受け、以下の活動を充実していく。

- ① 堆肥作り、大地のリサイクルを進める。
- ② 小さなサケの稚魚を育て川を守る。
- ③ 地域とともに花いっぱいの学校をつくる。
- ④ 地域の生んだ詩人や文化遺産などの調べ学習も行う。